

平成23年度第2回川崎区区民会議

日 時 平成23年10月4日（火）午後6時30分

場 所 川崎区役所7階会議室

午後 6時30分 開 会

出席者（敬称略）

（1）委員 17人

魚津利興、荒井敬八、島田潤二、赤間靖夫、猪熊俊夫、木島千栄、小泉忠之、鈴木真、富田順人、朴栄子、秦琢二、服部正夫、深澤香織、藤岡玲子、星川孝宜、宮崎とみ子、鷺頭多加志

（2）参与 6人

飯塚正良、岩崎善幸、為谷義隆、浜田昌利、宮原春夫、杉山信雄

1 開 会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、資料の確認、出席者の紹介>

2 区長あいさつ

区長 第3期はあと半年を残すばかりですが、5月には中間報告を取りまとめていただきました。現行予算で対応できるものとして、ウォーキングマップの作成、「区の花」「区の木」の選定に向けて今準備を進めています。最終方向についても、短期的に取り組める課題と中長期的な課題があると思いますが、今後とも関係局、関係機関とも調整しながら、皆さんの意見を区政に反映していきたいと考えています。

第4期に向けて、皆さんの意見も賜りながら、この区民会議をさらに盛り上げていきたいと考えていますし、多くの区民が参加できるような仕組みづくりの広報にも努めていきたいと考えていますので、本日はよろしく申し上げます。

3 委員長あいさつ

魚津委員長 昨年4月にスタートした第3期も残すところ半年になりました。高齢者部会、子ども部会、環境部会と、3つの部会を立ち上げて意見を聞いていますが、5月25日開催の全体会議から本日までの間、各部会を数回にわたり開催していただき、熱心に協議していただいたことに心から感謝します。その結果、地域課題の解決に向けて幾つかの実効性ある提案等を行うことができました。詳細はこの後、各部会長から報告していただきます。残された半年で地域課題の進展に向けて協議していきたいと思っています。

後ほど区民会議フォームについて皆さんから意見をいただきますので、よろしくお願

いします。

4 議題

(1) 各部会の審議状況について

魚津委員長 議題(1) 各部会の審議状況についてを議題にします。初めに高齢者部会から説明をお願いします。

星川部会長 <資料1、資料2に沿って説明>

コミュニティバスについては、かわさきTMOが川崎駅周辺の構想を22年11月に打ち出しており、それを踏まえて提案した案件ですので、猪熊委員から補足説明をしていただきます。

猪熊委員 川崎駅及び中心市街地から郊外へのアクセスを主な役割とするコミュニティバスが高齢者に優しいまちづくりではないかと思いました。新川通りと市役所通りが海側に向かって扇状に開いており、交通手段による横軸のつながりが少ないです。中側は交通体系に空洞化を来しているのが現状です。コミュニティバスは短距離移動を目的にして、各町内会を走行したり、病院、役所、斎場に行ったり、買い物等が容易にできるようなものを連想しています。

この取り組みに対してTMOからいろいろな資料をいただき、勉強会を開きました。他都市のコミュニティバスの情報を得ながら、事務局では吉祥寺のムーバスに乗ってもらいました。その結果、区民アンケートをとるべきだということに落ちつきました。区民アンケートは、反対意見も取り入れながら調査結果を出していきたいと思えます。任期があと6カ月なので、運行までは結びつきませんが、それに結びつける方向として、アンケートが1000件くらい集まれば、すばらしい調査結果が出るのではないかと考えています。

魚津委員長 この件に関して、質問なり感想がありますか。

小泉委員 小田地区に住んでいますが、小田から大師様へ行く交通機関が非常に不便です。私は車で行けますが、これができないお年寄りには、川崎駅へ出て、バスを乗りかえて大師様へ行きます。距離的にはそんなに遠くないですが、こういうバスができれば利用価値があります。応援しますので、よろしくをお願いします。

魚津委員長 ウォーキングマップ5000部が来年3月末に完成しますが、1月中に委員で一度歩いてみたいと思えます。

コミュニティバスはいろいろ意見があると思いますので、今期にアンケートをとるよう
に持っていきたいと思います。協力をよろしくお願いします。

星川部会長 ウォーキングマップを活用して、区民会議委員によるプレイメントを行いま
す。どのコースを歩きたいかご意見があれば、部会で検討してなるべくご要望に添うよ
うな形で実施したいと思います。

魚津委員長 次に、子ども部会から説明をお願いします。

朴部会長 <資料3、資料4、資料5に沿って説明>

魚津委員長 この件に関して、質問なり感想なりいただければと思います。

宮崎委員 田島では世代間交流を10月ごろからやる計画でいしましたが、少し時間をちょう
だいしています。小田地区民協と京町中学校区地域協議会と一緒に、浅田小学校の体育
館を借りて、土曜日の午前中2時間ぐらいできればというところまで進んでいます。保
護者や子どもが顔見知りになれるような環境が少しでも前に進んで、それが行く行くは
大きなものになっていけば、世代間の交流もでき、いろいろなところにつながっていく
のではないかと動いていますが、実際はスタートラインに立っていないのが実態です。

深澤委員 世代間交流が今大切ではないかと感じています。子育てフェスタも世代間交流
をテーマに毎年同じような時期に開催していますが、難しい部分もたくさんあります。
これでは川崎区全体になってしまうので、地域に密着した小さい形での世代間交流がで
きる場をもう少し広げていきたいと考え、今検討を進めています。時間があれば子育て
フェスタに参加して、川崎区において世代間交流をどのようにしていったらいいか、意
見もいただけるとありがたいと思っています。

小泉委員 小田地区民生委員協議会では、町内会館を利用して子育てサロンという母親と
子どもの交流をしています。12月のクリスマスパーティーには、近所のお年寄りに招待
状を出して、その方々に演奏をもらおうと思っています。ささやかな地域間の交流です
が、そこから始めてみようかと計画しています。案が固まってきたので、皆さんにも紹介
しておきたいと思います。

魚津委員長 居場所づくりは、小さなサークルを中心に活動していくのが一番いいのでは
ないかということです。

出前講座は興味深いことをやっていくことも必要ではないかと思っています。

10月10日にカラーリングをやりますが、地域に少しでも根づくようになればと考えています。皆さんの活躍に心より感謝します。

次に、環境部会から説明をお願いします。

木島部会長 <資料6、資料7に沿って説明>

鷺頭委員 「区の花」にどれだけの応募があるのか、投票率がどのぐらいになるのか、大きな問題があります。より多くの皆さんに知っていただけるようにPRをお願いしたいと思います。

魚津委員長 何らかの方法でまず関心を持ってもらい、投票してもらうことが必要だと思いますので、よろしくお願いします。

藤岡委員 「区の花」は数をたくさん集めるのが第一ですが、いろいろな年代の人の票が欲しいです。子育てフェスタでは世代間交流ができるので、見に来てくださいと話がありました。しかし、「区の花」の応募が終わった10月28日の開催はいかにも残念です。そういう場で、お母さんはこんな花があるといい、僕はこんな花を植えたいという話ができ、川崎区が花でいっぱいになればいいと思います。

「区の木」は、これからふやすといっても、木を植える場所がないのはご存じのとおりですので、既存の木、象徴的な木を選ぼうと、花とは趣向を新たにしています。高齢者部会のウォーキングマップに載せられるかどうかわかりませんが、決まった後にいろいろな形でPRができると、川崎区がますます住みやすいまちになっていくと思います。

10個の木と花の候補は、60代以上の方々に挙がった候補です。小学生、中学生からは、その他のところでこんな花がいい、こんな木がいいと挙がってくるかもしれないと一つの楽しみもあります。皆さんからPRしていただきたいのと、外に応募箱が置いてありますので、応募して帰っていただきたいと思います。

環境意識向上のポスターもそうですが、子どもから大人へというのが一番大きな力になると思っています。ポスターも3年続けて認知度が大分上がってきました。子どもの力をかりて、川崎区一体となっていく「区の花」「区の木」を決めていきたいと思っていますので、協力をよろしくお願いします。

魚津委員長 「区の花」「区の木」は若い人の声も聞きたいので、PTAで協力していただく方法がありますか。

秦委員 区のPTAでPRしてほしいと言っていますが、各学校の代表者の会議で言っている程度ですので、具体的にどれぐらいの影響力があるかは微妙なところです。

魚津委員長 会合等のときに宣伝してください。

宮崎委員 中学校は全校で300枚ぐらいとってくれるそうです。小学校にもお願いをして、6年生を対象に既に50枚ぐらいとっていただいています。子どもたちから見た区のイメージ、区の木は大切なものだと思いますので、子どもの意見も入れるようお願いしています。

藤岡委員 力強い意見をありがとうございます。

荒井副委員長 区民会議で募集してこれが川崎区の木です、こういう花にしましょうというのは、区長を初めどういう考えなのかが基本になると思います。このくらいの数がないと区としては認められないとか、あくまでも区民会議で決めたという程度にとどめるのか、難しい問題だと思います。どの程度の応募があれば認められるのか、これがないと、区民会議で決めた木と花になってしまうおそれもあるので心配しています。区が本気で木と花を決める意思があれば、区長が先頭に立って、区内の行政機関、教育委員会等に協力をいただかないと、一部のPTAや町連の皆さんだけではできないような気がします。その辺の覚悟のほどを聞きたいと思います。

区長 なるべく多くの方の意見を踏まえることが基本ですが、区民は22万7000人いますので、過半数をとらなければ無理ですとかいうことは、現実的には無理だと思います。小中学校、保育園、いろいろな会議で私自身が説明をして、募集をお願いしています。選考委員会からこの花がいいと意見をいただき、区民からの意見も踏まえて決定したいと思います。いずれにしても、決めたものをいかに活用していくかの視点で努力していきたいと思っています。

荒井副委員長 私見ですが、一つの木でなければいけない理由はありません。複数であってもいいのではないですか。ここまできたので一番多いものを選定して、随時追加できるものがあってもいいのではないですか。どうなるのかわからないのでは、応募するほうも張り合いがありません。その辺は考慮いただければと思います。

魚津委員長 「区の木」は、決まったからといって植える場所が現実にはありません。パンフレットやポスターに使うことからなじませる方法もあると思います。「区の花」はい

ろいろな方法があると思います。前向きに取り組んでいただければと思いますので期待しています。

3つの部会に貴重な意見をいただきましたので、それなりにまた進んでいきたいと思っています。

環境意識向上ポスターは継続をよろしくお願いします。

カラーリングは10月10日に行われますが、大きな輪になっていくのではないと期待していますので、よろしくお願いします。

(2) 区民会議フォーラムについて

魚津委員長 区民会議フォーラムについてを議題にします。

<資料8に沿って説明>

皆さんの意見をお願いします。

荒井副委員長 区民会議フォーラムは、今まで大師支所や田島支所等、地域の皆さんが出席しやすい場所を選んで、地域の課題等について懇談するものをずっとやってきました。

今期の市議会本会議でみんなの党の月本議員から、区民会議の傍聴人は、初年度は15～16人いましたが、今では4～5人程度です。これはどういうことなのか。区民会議が区民にどれだけ認知されているのか、市民が区民会議に対してほとんど反応していないのではないか。期待もしていなければ、何をやっているのか、興味を持っていないのではないかという代表質問がありました。これに対して総合企画局長は、今後、そういうことのないよう大いにPRします。川崎駅にあるような大型スクリーンを使って宣伝するようにしますと言っていますが、宣伝よりも中身が問題だろうと思っています。地域の方がやってほしいことを我々が取り組んでいるのかどうか。大きな課題を突きつけられたような気がします。

今回のフォーラムはこういうやり方はどうですかという区役所の提案です。今、地域で地震対策は大丈夫かというのが大きな課題になっているので、こういうものも加えているようです。皆さんに考えていただき、どういう形にするか決めていただければということです。

魚津委員長 区民に配付する資料等には区民会議のことを写真入りで出していただいているので、聞くと、それなりに知っているという声はいただきます。今期も3つの課題を持って、こういうふうにやってきましたということだけではなく、第4期の参考になるような意見もいただければと思っています。委員の交代もありますので、有意義な会議にしたいと思っていますので、貴重な意見をいただければと思っています。

島田副委員長 区民会議の活動がなるほどということを理解してもらえれば、それなりの存在があると感じています。

10月10日にコミュニティの事業をやりたいということからいくと、私の田島では、運動会も大なり小なり立場立場で動いていることは理解してあげないと、一つのものにまとめ上げてこうなさいというのは至難のわざです。

「区の花」「区の木」にしても、今ある木、今ある花の中で1回決定して差し支えないと思っています。そこで区長が決裁をすることがあり得ても当然だと思っています。何か筋を通してやっていくことは必要です。さまざまに展開することは頼もしく思っていますし、何がだめだとか決して言っていません。

魚津委員長 内容は幹事会等を開いて、区と相談しながら進めていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

傍聴人がいないということですが、立派な皆さんに任せているから大丈夫だということもあると勝手に解釈します。

ここで、参与の方に一言お願いします。

浜田参与 皆さん、時間をかけて、思いを注いでこれに至るまでにいろいろなことをやっていると感じます。いつも刺激を受けて素晴らしい会議だと思っています。

この前、品川区役所が区民アンケートをとり、目標回収数を2000枚にしたと言われたので、何で2000枚にしたのかと聞いたら、人口が36万人、世帯が約18万で、その1%で2000枚を回収目標にしたと聞き、それが有為性を持った数なのかと思いました。

きょうも高齢者部会の刺激的な触発を受けるお話を聞けたので、参考にして頑張っていきたいと思います。いつも貴重な意見をありがとうございます。

為谷参与 区民会議には期待する思いがあり、現状はもったいないという思いも同時にあります。その中で区民会議フォーラムを行い、区民に積極的に参加してもらうことは有意義な試みであると思っています。

「区の花」「区の木」を決めて、区でもオフィシャルなものとして運用し、川崎区のシティセールスにつなげられるような動きに持っていったら、区民会議の存在意義ももっと先にいけるのではないかという期待感もあります。応援しています。

杉山参与 日ごろ3部会の皆さんが熱心に尽力していることに感謝します。来年4月、川崎区政が40周年を迎え、一つの区切りの中で「区の花」「区の木」を選定していく話を聞きました。住んでよかった、川崎区に住みたい、生活したい、仕事をしたい、そのような川崎区になるように県議会の立場から頑張っていきたいと思います。

魚津委員長 区民会議でいろいろな意見が出てきていますが、市、県で取り上げていただく問題もあったと思います。前向きに取り組んでいただきたいと思っています。

(5) その他

事務局 その他で何かありますか。

事務局 <参考資料に沿って説明>

区民会議フォーラムは、団体推薦の方は次期に想定される方、団体から何人か来ていただけると、盛り上がると思いますので、協力をお願いします。

朴委員 2期るとき、外国人の安心・安全ということから、大島地区の防災訓練に参加させていただきました。3月の地震後、計画停電の情報は私たちもわかりにくかったのですが、外国人の方にはもっと伝わりませんでした。2期るときからメール配信をして、少しでも情報がわかるようにしています。外国人の方たちが地域の防災訓練に参加したら、全然違うことがよくわかりました。今年度も防災訓練をする地域がありましたら、声をかけてもらい、外国人区民も参加させていただけないかと思います。よろしくお願いします。

区長 <お礼を述べる>

4 閉 会

事務局 以上で平成23年度第2回川崎区区民会議を終了します。

午後 8時13分 閉 会